

"室蘭港利用促進懇談会"を開催しました

11月18日（金）東京の都市センターホテルにて、室蘭商工会議所・室蘭港湾振興会・室蘭市の共催で“室蘭港利用促進懇談会”を開催しました。

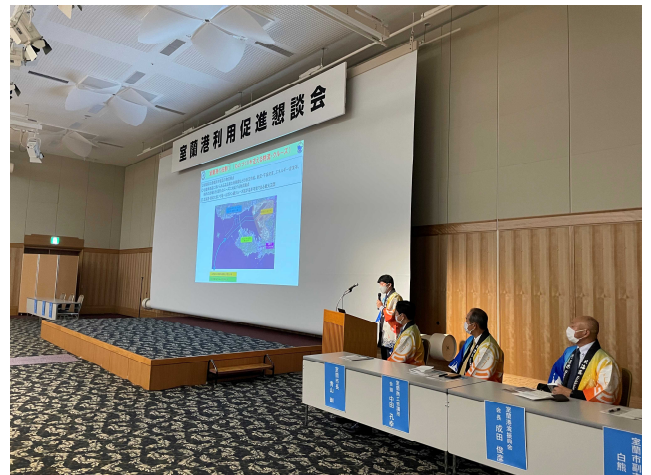
開港150年の節目に3年振りとなった今回は、北海道選出の3名の国会議員が臨席する中、室蘭港を利用する船社・物流企業等から約140名が出席しました。

主催者を代表して青山室蘭市長は、石炭の積出港に始まり、石油・原子力・再生可能エネルギーの変遷とともに発展を遂げた室蘭港の歴史を振り返りながら、大水深かつ静穏な港湾としての地の利を活かして、あらゆる大型船の入港環境が整っていることをアピールしました。

また、室蘭港の近況報告を行った白熊副市長は、臨港部に“ものづくり産業”が集積し、水素・洋上風発関連の部材を生産するポテンシャルがあるため、カーボンニュートラルの実現に向けて新しいエネルギーの拠点づくりを進めていくことや、大手ゼネコンと連携する洋上風発関連のプロジェクト等を紹介しました。



鈴木宗男参議院議員の挨拶



室蘭港近況報告

(室蘭市 港湾部)

第2回室蘭港CNP協議会が開催されました！

11月25日（金）、室蘭市防災センター研修ホールにおいて、第2回室蘭港カーボンニュートラルポート（CNP）協議会がWEB併用で開催され、北海道開発局等関係団体や民間事業者等あわせて約30名が参加しました。

議事では、事務局より室蘭港における温室効果ガス排出量の推計状況の説明がありました。具体的には、室蘭港におけるCO₂排出量として、2013年度（基準年）と2020年度（最新データ）の推計値が提示され、2020年度の削減率は50%（2013年度比）と推計されることを確認しました。

その後、非公開でCNP形成計画の骨子案やイメージ案についての説明があり、目指すべき将来像や2030年度の削減目標等についての意見交換が行われました。

来年2月頃の次回の協議会において、CNP形成計画の素案が示され、令和4年度内の計画策定が予定されています。



第2回室蘭港CNP協議会開催の様子

（港湾空港部 港湾計画課）

Sea級グルメ全国大会in八幡浜で北海道のみなとオアシスが上位独占！

11月12日(土)～13日(日)の2日間、第13回みなとオアシス Sea級グルメ全国大会in八幡浜が愛媛県の道の駅みなとオアシス「八幡浜みなと」において、2日間快晴のなか開催されました。

北海道からは室蘭市・苫小牧市・紋別市・利尻町のみなとオアシスが参加するなど、全国から27のみなとオアシスが出店し、全国のご当地グルメに大勢の市民や観光客が舌鼓を打ちました。

2日間の購入者の投票によりSea級グルメの順位が決定され、

優勝：みなとオアシス苫小牧(ホッキしゅうまい)

準優勝：みなとオアシスもんべつ(ホタテステーキ)

第3位：みなとオアシスりしりとう・くつがた(利尻タコカツ)との結果となり、北海道のみなとオアシスが上位独占する快挙を成し遂げました！

2日間で延べ35,000人が来場し、大盛況のうちに大会は幕を閉じました。今回の成果を弾みに、Sea級グルメの地元での普及やみなとオアシス間の交流など、「みなと」を通じた地域の活性化につながることを期待されます。



Sea級グルメ表彰式



にぎわいを見せる北海道からの出店ブース



グランプリに輝いた「みなとオアシス苫小牧」
(港湾空港部 港湾計画課)

令和4年秋の褒章伝達式を開催

令和4年秋の褒章において、石狩湾新港における社会奉仕活動での功績により、「石狩湾新港企業団地連絡協議会」が緑授褒章を受章し、11月17日(木)北海道開発局で開催された伝達式で石塚北海道開発局長から同協議会の阿部会長に褒状が伝達されました。

同協議会は平成10（1998）年から石狩湾新港の清掃活動を続け、関連する企業のみならず石狩湾新港を管轄する国・道・市にも参加を呼びかけるなどした結果、近年は600人を超える方々が参加されています。

これまで、この活動を支えてこられた事務局の方々や参加された一人一人の皆様方に敬意を表するとともに改めて感謝いたします。



左上写真（褒状の伝達を受ける阿部会長）

右上写真（挨拶される阿部会長）

左集合写真（前列左から阿部会長、桑山事務局長、後列左から波積局次長、石塚局長、鈴木港湾空港部長）

（港湾空港部 港湾計画課）

気候変動による北海道沿岸の波浪の将来変化を推計

北海道開発局では、寒地土木研究所と連携し、北海道沿岸の将来（21世紀末）の海象変化について検討しています。

今般、「[地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース \(d4PDF\)](#)」※1の中の、将来の海上風データを用いて、港湾施設等の設計で用いる50年確率波※2を推計しました。

今回、海域別（日本海、太平洋、オホーツク海）の3港（留萌港、苫小牧港、紋別港）を対象に分析したところ、現在の気候状態※3に比べ、将来気候※4において、**波高が約2～9%増加**する結果となりました。（詳細については、[報道資料](#)もご覧下さい）

今回の検討結果を踏まえ、気候変動による北海道港湾への影響を分析し、今後の対応策について検討していきます。

なお、本検討の詳細については、第69回海岸工学講演会で奨励賞を受賞した論文※5にとりまとめております。

※1 文科省・気候変動リスク情報創世プログラムで作成された「database for Policy Decision making for Future climate change」

※2 平均50年に1回出現する波浪で、一般的に供用期間50年の港湾施設の設計で用いる波浪

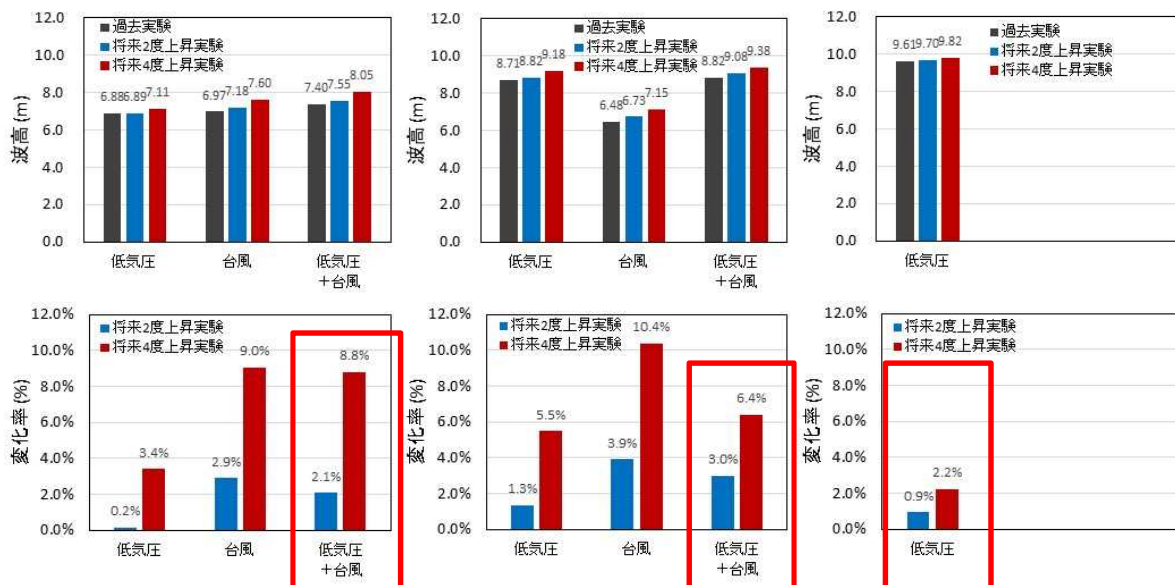
※3 d4PDFにおける1951～2011年までの気候を過去実験により再現した気候状態

※4 産業革命以前に比べ、全球平均温度が2℃及び4℃上昇した状態

※5 論文名「d4PDFを用いた設計波高の将来変化の効率的な推定手法」

北海道沿岸の設計波の将来変化の推計結果

※下図（棒グラフ） 黒：現在、青：気温が2℃上昇した将来、赤：気温が4度上昇した将来における、それぞれの波高（上段）と現在に対する波高の増加率（下段）を示しています。



〈苫小牧港〉

〈紋別港〉

〈留萌港〉

(港湾空港部 港湾計画課)

“みなとSDGsパートナー登録制度”のご紹介



“みなとSDGsパートナー登録制度”が今年度、国土交通省港湾局において創設されたのでご紹介します。

国土交通省港湾局は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

< “みなとSDGsパートナー登録制度” 創設の目的 >

・港湾関連企業等が行う事業活動等の取組とSDGsの関連性について「気づき」を促すとともに、その取組を「見える化」することにより、SDGsの普及促進と取組の更なる推進を図り、ひいては我が国港湾及び港湾関係産業の魅力向上と将来にわたる持続的な発展に資することを目的として創設されました。

< 申請できる対象者とメリット >

・港湾の整備、利用、保全、管理及び運営に関する事業活動を行う企業、法人、団体、個人事業主であってSDGsの達成に向けた取組を実施している、又は取り組む意欲がある者が対象となります。

・登録を受けることで、

- ①港湾局ウェブサイトにおいて登録企業等の取組内容が紹介されます。
- ②登録証の交付及び登録企業等だけが使用できるシンボルマーク(右記)が提供されます。これにより様々な利害関係者に一定の客観性のある形でSDGs達成に資する取組をPRすることが可能となります。



< 申請の方法と募集スケジュール >

・下記に示す港湾局ウェブサイトから申請書等をダウンロード頂き、必要事項をご記入の上、申請ができます。

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk5_000047.html

・原則として、毎年4月、7月、10月、1月の年4回の募集を予定。有効期限は登録日から3年間となります(更新可)

・開発局が港湾整備等を通じて実施しているSDGs達成に資する取組もこちらのページからご覧頂けます。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kk/kou_ken/slo5pa000000sm2p.html

国際拠点港湾 室蘭港で 大規模地震・津波総合防災訓練を実施しました！

令和4年10月8日（土）、室蘭港で大規模地震・津波総合防災訓練を実施しました。

訓練には平成30年に発生した「北海道胆振東部地震」で被災者の支援活動を行った、北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所所属の大型浚渫兼油回収船「白山」や第一管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面隊、室蘭警察署、室蘭市消防本部など16機関・団体から約120名が参加しました。

当日は晴天の下、「白山」による油回収訓練、第一管区海上保安本部函館航空基地所属のヘリコプター「くまたか」による広域海上点検訓練、室蘭海上保安部の巡視船「れぶん」による放水や、巡視艇「こざくら」の航走による油拡散訓練など、9つの訓練を実施し手順等を確認しました。



【開会挨拶】
青山 剛 室蘭市長



開会式



①避難訓練



②広域海上点検訓練



③油回収訓練



④被災状況調査訓練



⑤油拡散訓練



⑥港湾巡視訓練



⑦航路啓開訓練



⑧漂流者捜索・救助訓練



⑨緊急支援物資輸送訓練



【閉会講評】

鈴木 徹 港湾空港部長

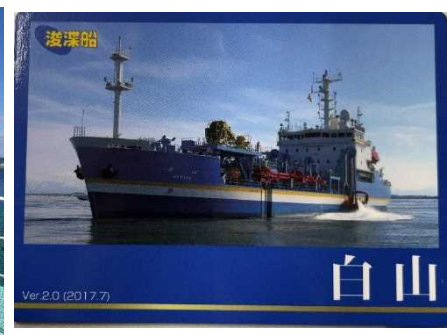
今後も、北海道内の各港湾において防災訓練等を実施し、関係機関との連携強化と対策の実効性を高めていきたいと思えます。

大型浚渫兼油回収船「白山」一般公開

防災訓練の翌日（10月9日）には大型浚渫兼油回収船「白山」の一般公開が行われました。

平成30年の胆振東部地震の際には、緊急支援物資輸送や給油支援、入浴・洗濯・給水支援を行っていただきました。

一般公開には、室蘭市内のほか登別市、札幌市などから約70名が見学され、「普段見ることのない変わった船ですね」という声がありました。見学者には、パンフレットの他に「白山」の作業船カードも配布されました。



一般公開の様子

「白山」の作業船カード

(港湾空港部 空港・防災課)

令和4年度年末年始の輸送等に関する 安全総点検の実施について

国土交通省では、多客繁忙期である年末年始に、公共交通の安全を図るとともに、輸送機関等の安全に対する意識を高めることを目的とする「年末年始の輸送等に関する安全総点検」の取組を実施しております。

関係港湾の港湾管理者の皆さまにおかれましては、管理する施設について、安全対策の実施状況等の自主点検の実施をよろしくお願いいたします。

○期間

令和4年12月10日（土）～令和5年1月10日（火）

○港湾に係る点検事項

- 1 旅客船等ターミナル、港湾施設等の保守点検の実施状況
- 2 港湾におけるテロ防止のための警戒体制の整備状況や乗客等の安心確保のための取組、テロ予告情報を入手した場合やテロ発生時の通報・連絡・指示体制の整備状況及びテロ発生を想定した訓練の実施状況
- 3 新型インフルエンザ対策及び新型コロナウイルス感染症対策の実施状況
- 4 自然災害、事故、感染症等発生時の乗客の安全確保のための通報・連絡・指示体制の整備・構築状況



<参考> 国土交通省報道発表（令和4年11月25日）

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/koutu/sosei_safety_fr1_000004.html

（港湾空港部 空港・防災課）